

# JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さまへ

2018年2月14日

当院の診療で得られた試料・情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の間合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この調査研究は JCHO 群馬中央病院倫理審査委員会にて審査され、病院長の承認を受けて行われます。

<b>①研究計画名</b>	群馬大学医学部附属病院および近隣病院における 周術期アナフィラキシー発生状況に関する調査			
<b>②研究責任者</b>	<b>氏名</b>	富岡 昭裕	<b>所属</b>	群馬中央病院 麻酔科
<b>③研究の目的・意義</b>	周術期とは手術を受ける前後のことで、アナフィラキシーとは命に関わるアレルギー反応のことです。周術期アナフィラキシーの発生状況について、日本ではほとんど調べられていません。日本と海外では手術中に使われる麻酔薬に違いがあります。したがって、日本で使われている薬がアナフィラキシーを引き起こす確率を調べようと考えています。			
<b>④研究期間</b>	倫理審査承認後～2021年1月31日			
<b>⑤対象となる患者さま</b>	2012年1月1日～2017年12月31日の期間に全身麻酔を受けた患者さま			
<b>⑥利用する情報</b>	電子カルテと麻酔チャートより以下の情報を提供します。 【年齢、性別、原因薬剤、アレルギー歴等の情報】			
<b>⑦利用する者の範囲</b>	上記の情報は、群馬大学医学部附属病院へ提供し、研究責任者と研究分担者が利用します。			
<b>⑧情報の管理</b>	使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。 また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。			
<b>⑨研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口</b>	<b>対応者氏名</b>	高澤 知規	<b>所属</b>	群馬大学医学部附属病院 集中治療部
	<b>TEL</b>	027-220-8454 (代表)		